

令和6年度 学校評価

 上段：はい
下段：だいた

 単位
％

	質問内容	教員	保護者	児童	考察及び改善方策
1	子どもたちは楽しく学校に登校している 【児童】学校に行くのが楽しいですか。	77.3 22.7	70.8 20.5	84.0 13.2	安心して良い人間関係を築き、楽しく学校生活を送っている様子が伺えます。今後も積極的な児童理解に努めるとともに、家庭との連携を継続し教育活動を充実させていきます。
2	子どもたちは生活習慣の確立ができています 【児童】早寝（夜10時ごろまで）早起き（朝7時ごろまで）をしていますか。	31.8 63.6	60.7 27.6	65.2 23.7	家庭での早寝・早起きに関しては概ね良好ですが、学校での様子を見てみると、それ以外の部分で生活習慣が気になるようです。生活習慣がしっかり整っていることの重要性を継続して指導していきます。
3	子どもたちは挨拶ができています 【児童】地域の人や友だちにも進んで挨拶をしていますか。	18.2 72.7	34.5 46.2	76.8 17.2	各学期に生活委員会で「あいさつ運動」を、登校時間帯に行っています。また、校外学習等で外に出かけるときも、挨拶の重要性を事前に指導しています。しかし、まだ足りない部分もあるので、引き続き指導をしていきます。
4	子どもたちはルール・マナーを守っている	18.2 81.8	61.6 31.0		児童の実態に応じた支援や指導を教員が共通理解のもと、担任・学年・生徒指導など、それぞれの立場から関りました。今後も、保護者のニーズにも寄り添った生活指導ができるよう心掛けていきます。
5	子どもたちは丁寧な言葉遣いをしている 【児童】相手の気持ちを考えた言葉遣いをしていますか。	18.2 77.3	40.7 46.7	79.6 17.9	学年が上がるにつれて、大人や友だちに対する言葉遣いを意識している印象です。教員も子どもたちに対する言葉遣いには、常に注意を払っています。状況に応じての言葉遣いについては、継続して指導していきます。
6	子どもたちは学校の準備ができています 【児童】寝るまでに、次の日の時間割の準備をしていますか。	27.3 72.7	49.2 35.9	77.7 15.8	児童と教員・保護者で「はい」と「だいたい」の割合が逆転しています。児童はできていると感じているが、実際には忘れ物等があるということだと考えられます。
7	子どもたちは読書をしている 【児童】家で読書をしていますか。	9.1 77.3	23.4 30.6	44.8 23.7	教員の肯定的割合は86.4%となっていますが、これは学校で図書室利用の推進をしていることが考えられます。しかし、家庭での読書となると、さまざまな要因から割合は低くなっています。文章読解力向上のためにも、引き続き読書の重要性を伝えていきます。
8	子どもたちは家庭学習ができています 【児童】家で宿題や学習をしていますか。	54.5 40.9	78.9 11.0	93.5 4.6	家庭学習は、保護者とも連携しながら、毎日の積み重ねを大切に今後も取り組んでいきます。しかし、「宿題が多い」などの意見も聞きますので、消化不良にならないよう、今後は量の調節とNO宿題DAYを設置して行く予定です。
9	子どもたちは学習内容が理解できています 【児童】授業はわかりやすいですか。	40.9 59.1	42.3 45.5	85.2 14.2	きめ細やかな指導体制に加え、個別最適な学びを充実することで基礎・基本を定着させることができました。また、自分たちの気持ちを積極的に発言し、豊かな心が醸成されつつあります。保護者との差は、期待の表れだと考えます。これからも日々の積み重ねを大切に一人ひとりの学びを指導していきます。
10	子どもたちを理解し指導や助言ができています	50 50	62.5 27.8		児童一人ひとりが活躍する場を設定するとともに、温かい人間関係を築くことができています。これからも互いに認め合い、尊重し合う集団づくりを行い、子どもたちの成長を丁寧に保護者に伝えていく努力をします。
11	子どもたちは学校であったことを家に伝えている	27.3 68.2	46.9 32.4		学年が上がるにつれて、親子の関係も変化していくため、学校であったことを伝えるという状況は変化していくと考えられます。重要な事項に関しては、しっかり家庭に伝わるように児童には徹底していきます。
12	子どもたちに確かな学力をつけさせている	54.5 40.9	68.5 22.8		肯定的評価が9割を超えてるが、今後も一人ひとりを大切にしたい教育環境づくりを行っていきます。また、高学年ではAI教材を活用して個に応じた支援を充実させ、教師がコーチングしながら弱点補強や学力向上を目指していきます。
13	子どもたちがいきいきと活動できる行事ができています	81.8 18.2	84.4 8.7		さまざまな行事に関しては、保護者・教員ともに高評価です。今後もさらに保護者・児童にとって有益な行事ができるように、学校全体で取り組んでいきます。

14	子どもたちの学校生活の様子はHP等で伝えられてる	90.9 9.1	73.1 19.3		小学校のHPは「毎日更新」を目標としており、各学年の協力もあり、実際に達成できています。今後も児童の生き生きとした姿を日々発信していきます。
15	保護者の協力を得ることができている	59.1 40.9	57.2 34.5		コロナ過もあり、保護者が参加できる行事が少なくなりましたが、少しずつもとに戻ってきています。保護者と学校が一体感を感じられるような行事運営を心掛けたり、新たな行事を取り入れたりして、さらに保護者の満足度を上げていきたいと思っています。
16	子どもたちは携帯電話の管理はできている 【保護者質問】携帯電話を所持している 【児童】自分の携帯電話を持っていますか。	40.9 54.5	24.1	43.0	学校では登下校時に必要とする場合のみキッズ携帯のみ許可する中で、大きなトラブルは起きていないが、高学年では家庭でスマホが使える様子伺えますので、被害等を想定した情報提供も行っています。
17	子どもたちの携帯電話はメールやインターネットの制限ができている 【児童】家で、自分でインターネットを利用できますか。	45.5 54.5		自由 43.2 許可 43.6	児童と保護者の数値の差が大きく、認識の違いが感じられ、ゲームに関するトラブルが起きている。PTA子育て講演会では保護者対象に「情報モラル」を取り上げ、正しい認識や使用方法についての講演会を実施しました。学校でのiPad使用での組織的対応や、家庭でも常にモラルについて話題にしていたきながら迅速に対応していきます。
	【保護者質問】通話のみ		64.8		
	【保護者質問】一部サイトへの制限		23.8		
	【保護者質問】その他の制限		10.5		
	【保護者質問】制限なし		1.0		
18	「入学させて良かった」と考える学校運営ができている 【児童】駿台甲府小学校に入って良かったと思いますか。	54.5 45.5	71.7 18.6	93.0 5.8	児童・保護者ともに肯定的評価が9割を超え、一定の評価を示していただけましたが、さらに一段上の学校になるよう、教職員一丸となって、進んでいきたいと思っています。

<学校運営などの取り組み総括>

(1)学力向上と工夫・改善

コロナが5類になり、学校行事・学校生活がほぼ通常に戻る中、コロナ禍での生活により、よい方向に改善できたことがありました。

- ・環境整備と感染対策への意識の向上
- ・学校行事の見直し。(収穫祭、フリー参観、音楽祭等、新規行事の実施)

本校は、コロナ前からICT環境の整備やプログラミング教育等を進めていましたが、コロナ禍の中、急速にICT環境は整い活用頻度も増しました。今後は、様々な創意工夫をして、バランスよく子どもたちが楽しく豊かな学びができるよう、現状に満足することなく更なる高みを求めていくため、教職員が切磋琢磨して学び合う気持ちを大切にしていきます。

(2)自己肯定感を高める教育活動の推進

他との関わりが密になり、より充実感のある活動ができるようになりました。学年の枠を超えた百人一首大会、収穫祭では2年生が中心となりお神輿や出店で楽しみました。校外学習の見直しも行い、今までの以上の学びの広がりを感じ、子どもたちの楽しむ姿も見られました。そこから生まれた達成感や充実感を大切に、自信ややる気に発展させ、自己実現に向かわせます。

(3)学びの広がり

さまざまな分野の「プロフェッショナル」が来校し、子どもたちに普段味わえない感動や思いを提供してくれました。ワンランク上の授業は、子どもたちの好奇心を刺激し、さらなる学びへと向かわせてくれました。